

小学部 生活単元学習 学習指導案

日 時 2月1日(土) 10:00~

場 所 B組教室

対 象 小学部B組児童6名

指導者 T1 橋本加奈子 T2 渡辺誠、弘瀬由紀菜

1. 単元名「サンドイッチやさんをしよう」

2. 単元について

児童観

本学級は3年生3名、4年生3名の計6名の児童が在籍している。児童は9月にC組(5・6年生)からピザをもらって食べたことにより、「自分たちも作ってみたい」という思いをもった。そこでピザ作りの調理活動に取り組み、自分たちで作ったピザを喜んで食べた。また、載せる具材を選ぶようにしたところ、出来上りを考えて選ぶ児童もいた。出来上りをイメージして作ることが難しい児童も教師と一緒にいたり、繰り返し行ったりすることで好きな具材を選び意欲的に調理に取り組んだ。「また作りたい」という声も挙がり、調理活動への興味関心が高いことが分かった。

また、本学級の児童はどの児童も人と関わるのが好きで、友達を招待したお祭りの生活単元学習では、お店の準備をしたり、お店で使う言葉のやりとりを楽しんだりして、お客さんをもてなす姿が見られた。

その一方で、一部の学習活動に消極的な児童もいる。活動内容に見通しがもてなかったり、意欲をもつことができなかつたりするようである。どの児童も自分事として主体的に活動に参加することができるよう、教師は視覚的な支援を用いたり、活動内容を工夫したりする等の手立てをとるよう努めている。

単元観

本単元では、児童が自分たちでサンドイッチの具材を考えたり、お店に必要な物を制作したりして、サンドイッチ屋さんを行う。好き嫌いの多い児童でも自分の好みの具材を選び食べることができること、調理の工程が分かりやすいこと、工程を分担して役割を果たし協力してサンドイッチ屋さんを行うことができること等から本単元を設定した。単元の最終週に小学部の友達や級外の教師を客に迎えることで相手の喜ぶ姿を期待して、意欲的に活動に取り組むことができるのではないかと考える。

学習活動は「サンドイッチのメニューを決めること」「お店に必要な物を考え、制作すること」「サンドイッチ屋さんとしてお客さんを招待すること」の3つを設定する。メニュー決めでは、調理活動を通してサンドイッチ作りに必要な材料や、調理の手順を知ること、具材選びやはさみ方を工夫しながら活動を遂行することを目指す。まず、一人一人が自分の考えるサンドイッチを作り、試食会として学級みんなで食べる活動を設定する。児童の意見をもとに学級としてのメニューを複数決め、サンドイッチ屋さんでは工程を分担して協力してお客さんを迎えることとする。学級のメニューを決める際は、自分の作ったサンドイッチについての思いを友達に伝え、伝

えたことに対して応答するような活動を設定する。お店に必要な物の制作や招待する活動では、自分の役割を知り、教師や友達と一緒に協力して取り組むことができるようにしたい。サンドイッチ屋さん本番でも「注文を受ける」、「調理をする」、「サンドイッチを運ぶ」等の一連の活動を分担し、それぞれが自分の役割を果たすことを通して協力して運営することができるようにする。

指導観

児童が楽しく本単元に取り組む姿を引き出すため、それぞれが食べてみたいサンドイッチの具材を選び自分で作って食べてみることで、サンドイッチ作りへの見通しをもち、活動への意欲を高めるようにしたい。それぞれが考えたサンドイッチを紹介したり、試食会を経て感想を伝えたりする活動では、児童の気持ちに合った言葉を一緒に考えたり、発言の少ない児童にはイラストや札等を用いて自分の気持ちや感想を伝え合うことができるように支援を行いたい。また、試食会で児童が気持ちを伝え合うことで、「みんなでサンドイッチ屋さんをする」という意識がもてるようにしたい。メニュー決めの後は、さらにサンドイッチ屋さんを開くことへの意欲が高まるように、お店に必要な物が何かを児童が話し合って決めて、制作に取り組むようにしたい。

調理活動や制作活動では、児童一人一人が主体的に活動することができるように、できる状況作りや適切な支援を行っていく。サンドイッチ屋さんの役割を分担して活動し学級全体で取り組む際は、自分の役割が果たせるように児童の実態に応じた支援を行っていくとともに、サンドイッチ屋さんの活動全体における自分の役割の大切さが実感できるようにしていきたい。

また、毎時間自分がその日に頑張りたいことを決めてめあてとして設定し、振り返りを行う。めあてを自分で考えることによって自分事として活動に取り組むことができるようにするとともに、学習の最後に頑張りを褒めてもらうことで、自分の学びや成長を実感し、次への活動の意欲へと繋がるようにしたい。

3. 単元の目標（各教科等、ア、イ、ウ）

- 調理活動を通していろいろな仕事の仕方を知り、活動に取り組むことができる。（生活 キ手伝い・仕事、ア）
- 調理活動を通して、工夫しながら活動に取り組むことができる。（生活 キ手伝い・仕事、イ）
- 主体的に調理活動を楽しむことができる。（生活 キ手伝い・仕事、ウ）
- 制作活動、準備や片付けにおいて自分のすることがわかる。（生活 カ役割、ア）
- 制作活動、準備や片付けにおいて友達と一緒に協力して、取り組むことができる。（生活 カ役割、イ）
- 制作活動、準備や片付けにおいて自分の役割に進んで取り組むことができる。（生活 カ役割、ウ）
- 教師や友達とのやりとりを通していろいろな言葉に慣れることができる。（国語、ア）
- 教師や友達に自分の思いや考えを伝えることができる。（国語、イ）
- 自分から進んで思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。（国語、ウ）

4. 単元の評価規準（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

- 調理の手順や買い物の仕方を知っている。（生活 キ手伝い・仕事、1段階、ア）
- 調理の手順や買い物の仕方が分かり取り組んでいる。（生活 キ手伝い・仕事、2段階、ア）
- 教師と一緒に調理に取り組んでいる。（生活 キ手伝い・仕事、1段階、イ）
- 工夫しながら調理活動に取り組んでいる。（生活 キ手伝い・仕事、2段階、イ）
- 自分から進んで、最後まで調理活動に取り組んでいる。（生活 キ手伝い・仕事、1，2段階、ウ）
- 制作活動や準備片付け等において自分の役割を知っている。（生活 カ役割、1段階、ア）
- 制作活動や準備片付け等において自分の役割が分かり活動している。（生活 カ役割、2段階、ア）
- 制作活動や準備片付け等において簡単な役割に教師と一緒に取り組んでいる。（生活 カ役割、1段階、イ）
- 制作活動や準備片付け等において友達と一緒に取り組んだり、やりやすい方法を考えて取り組んだりしている。（生活 カ役割、2段階、イ）
- 制作活動や準備片付け等において自分の役割に進んで取り組んでいる。（生活 カ役割、1，2段階、ウ）
- 教師や友達とのやりとりを通していろいろな言葉に触れている。（国語、1段階、ア）
- 教師や友達とのやりとりを通していろいろな言葉を使おうとしている。（国語、2段階、ア）
- 教師や友達に自分の思いを伝えている。（国語、1段階、イ）
- 自分の気持ちに合った言葉を使ったり、言葉を選んだりして自分の思いや考えを伝えている。（国語、2段階、イ）
- 自分から進んで思いや考えを表現したり、伝えたりしている。（国語、1，2段階、ウ）

5. 単元の計画（全 15 時間）

次	時	日時	学習内容	指導内容（学習指導要領か学習内容表から）
1	1	1/28(火)	○作りたいサンドイッチを考えよう ・具材を選ぶ。 ・作り方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日課予定について知ること。（生活 日課・予定） ・身の回りの簡単な手伝いや仕事をしようとする事。（生活 手伝い・仕事） ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事。（生活 役割） ・買い物における金銭の扱い方等を知ること。（生活 金銭の扱い） ・伝えたいことを思い浮かべて表そうとしたりすること。（国語 聞くこと話すこと）
	2	1/29(水)	○買い物へ行こう①	
	3	1/30(木)	○メニューを決めよう	
	4	1/31(金)	・サンドイッチを作る	
	5	2/1(土)	↓	
	6 本時	2/1(土)	・試食会	

2	7	2/3(月)	○開店準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしよ うとすること（生活 役割） ・買い物においての金銭の扱い方等を知ること。 （生活 金銭の扱い） ・身近な材料を使い、描いたり形を作ったりする こと。（図画工作 表現）
	8	2/4(火)	・看板	
	9	2/5(水)	・ランチョンマット等	
	10	2/6(木)	○買い物へ行こう②	
3			○サンドイッチ屋さん をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日課予定について知ること。（生活 日課・ 予定） ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしよ うとすること。（生活 役割） ・身近な人との接し方等について知ること。（生活 人との関わり） ・伝えたいことを思い浮かべて表そうとしたりす ること。（国語 聞くこと話すこと）
	11	2/7(金)	・練習をしよう	
	12	2/10(月)	・先生を招待	
	13	2/12(水)	・A組を招待	
	14	2/13(木)	・C組を招待	
4	15	2/14(金)	○ふりかえりをしよう ・思い出シート	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを思い浮かべて表そうとしたりす ること。（国語 聞くこと話すこと） ・経験したことから伝えたいことを想起する こと。（国語 書くこと）

6. 単元の個人目標（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

児童生徒	個人目標	
A	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方について知り、取り組むことができる。(小2ア)
		②必要なことを考えたり、気付いたことを伝えたりすることができる。(小2イ)
		③自分から進んで活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	生活 (役割)	①サンドイッチ屋さんの準備や片付け、お客さんを招く際のいろいろな役割を知り、自分の役割がわかる。(小2ア)
		②自分や友達のやりやすい方法を考えて活動に取り組むことができる。(小2イ)
		③周りを見ながら進んで活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	国語	①いろいろな言葉や使う場面について知り、使うことができる。(小2ア)
		②教師や友達に自分の思いや考えを選択肢から選んだり、自分の言葉で表現したりして伝えることができる。(小2イ)
		③自分から思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小2ウ)
B 対象児①	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方を知ることができる。(小1ア)
		②教師と一緒に調理活動をすることができる。(小1イ)
		③調理の手順がわかり、自分から取り組もうとする。(小1ウ)

	生活 (役割)	①自分の役割が分かって取り組もうとすることができる。(小1ア)
		②簡単な役割を教師と一緒にすることができる。(小1イ)
		③自分から進んで取り組もうとすることができる。(小1ウ)
	国語	①調理や制作で使う言葉を知ることができる。(小1ア)
		②場面に合った言葉で表現することができる。(小1イ)
		③教師と一緒に思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小1ウ)
C	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方を知ることができる。(小1ア)
		②教師と一緒に調理活動をするすることができる。(小1イ)
		③最後まで調理活動に取り組むことができる。(小1ウ)
	生活 (役割)	①自分の役割がわかる。(小1ア)
		②簡単な役割を教師と一緒にすることができる。(小1イ)
		③自分から進んで取り組もうとすることができる。(小1ウ)
	国語	①調理や制作で使う言葉を知ることができる。(小1ア)
		②言いたい言葉を選んで表現することができる。(小1イ)
		③教師と一緒に思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小1ウ)
D	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方について知り、取り組むことができる。(小2ア)
		②必要なことを考えたり、気付いたことを伝えたりすることができる。(小2イ)
		③進んで調理活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	生活 (役割)	①サンドイッチ屋さんの準備や片付け、お客さんを招く際のいろいろな役割を知り、自分の役割がわかる。(小2ア)
		②自分や友達のやりやすい方法を考えて活動に取り組むことができる。(小2イ)
		③周りを見ながら進んで活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	国語	①いろいろな言葉や使う場面について知り、使うことができる。(小2ア)
		②教師や友達に自分の思いや考えを選択肢から選んだり、自分の言葉で表現したりして伝えることができる。(小2イ)
		③自分から思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小2ウ)
E 対象児②	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方について知り、取り組むことができる。(小2ア)
		②出来上がりを楽しみに、自分なりに工夫して活動することができる。(小2イ)
		③進んで調理活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	生活 (役割)	①サンドイッチ屋さんの準備や片付け、お客さんを招く際のいろいろな役割を知り、自分の役割がわかる。(小2ア)
		②自分の役割について気付いたことを教師に伝え、取り組むことができる。(小2イ)
		③周りを見ながら進んで活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	国語	①いろいろな言葉や使う場面について知り、使うことができる。(小2ア)
		②教師や友達に自分の思いや考えを選択肢から選んだり、自分の言葉で表

		現したりして伝えることができる。(小2イ)
		③自分から思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小2ウ)
F	生活 (手伝い)	①調理の手順や買い物の仕方について知り、取り組むことができる。(小2ア)
		②出来上がりをイメージして、自分なりに工夫して活動することができる。(小2イ)
		③進んで調理活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	生活 (役割)	①サンドイッチ屋さんの準備や片付け、お客さんを招く際のいろいろな役割を知り、自分の役割がわかる。(小2ア)
		②自分の役割について気付いたことを教師に伝え、取り組むことができる。(小2イ)
		③周りを見ながら進んで活動に取り組むことができる。(小2ウ)
	国語	①いろいろな言葉や使う場面について知り、使うことができる。(小2ア)
		②教師や友達に自分の思いや考えを選択肢から選んだり、自分の言葉で表現したりして伝えることができる。(小2イ)
		③自分から思いや考えを表現したり、伝えたりすることができる。(小2ウ)

ア知識及び技能 イ思考力、判断力、表現力等 ウ学びに向かう力人間性等

7. 本時の目標（各教科等、ア、イ、ウ）

- 準備や片付けにおいて、自分の役割が分かり、仕方を工夫して取り組むことができる。(生活カ役割、イ)
- 自分のサンドイッチの紹介や友達のスンドイッチについての感想を伝えることができる。(国語B話すこと、イ)

8. 本時の評価規準（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

- 準備や片付け、試食会において、自分の役割のタイミングが分かり、教師と一緒に取り組んでいる。(生活カ役割、小学部1段階、イ)
- 準備や片付け、試食会において、友達と一緒に協力して取り組んでいる。(生活カ役割、小学部2段階、イ)
- 自分や友達のスンドイッチについて思ったことを簡単な言葉や札を用いて伝えている。(国語B話すこと、小学部1段階、イ)
- 自分や友達のスンドイッチについての感想を言葉で伝えている。(国語B話すこと、小学部2段階、イ)

9. 本時の個人目標（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

児童生徒	個人目標
A	①自分の役割が分かり、友達と協力して準備や片付けができる。(生小2イ)

	②自分や友達のスンドイッチについて自分の言葉で紹介や感想を伝えることができる。(国小2イ)
B 対象児①	①準備や片付けでの自分の役割を教師と一緒にすることができる。(生小1イ) ②自分のスンドイッチを簡単な言葉で教師と一緒に紹介することができる。(国小1イ)
C	①準備や片付けでの自分の役割を教師と一緒にすることができる。(生小1イ) ②自分のスンドイッチを簡単な言葉で紹介することができる。(国小1イ)
D	①準備や片付けで必要な役割が分かり、自分の役割をすることができる。(生小2イ) ②自分や友達のスンドイッチについて自分の言葉で紹介や感想を伝えることができる。(国小2イ)
E 対象児②	①準備や片付けで必要な役割が分かり、自分の役割をすることができる。(生小2イ) ②自分や友達のスンドイッチについて自分の言葉で紹介や感想を伝えることができる。(国小2イ)
F	①準備や片付けで必要な役割が分かり、自分の役割をすることができる。(生小2イ) ②自分や友達のスンドイッチについて自分の言葉で紹介や感想を伝えることができる。(国小2イ)

ア知識及び技能 イ思考力、判断力、表現力等 ウ学びに向かう力人間性等

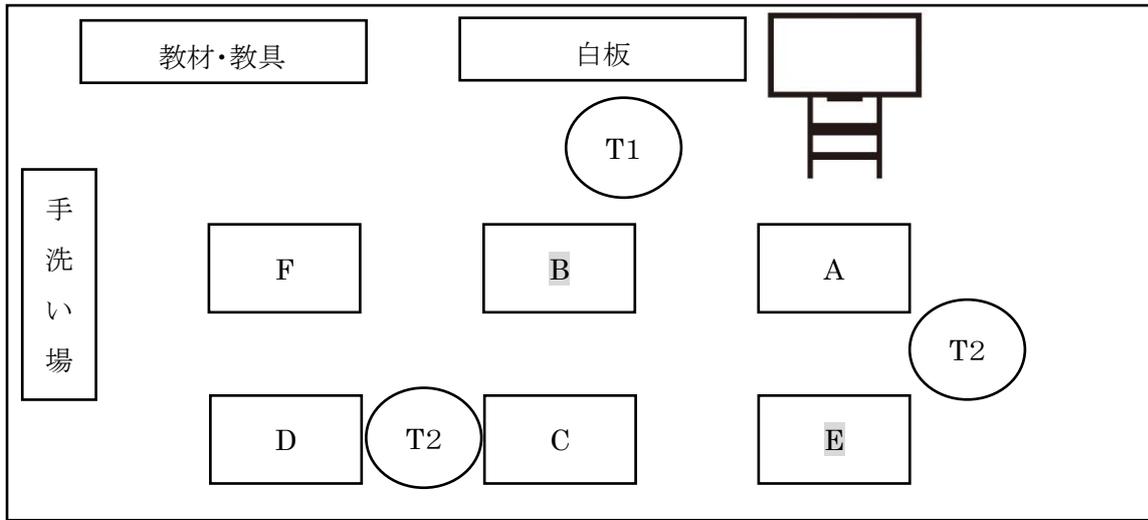
10. 授業の展開 (本時は 10:00~10:45)

時間	活動内容	指導・支援
9:20	1. はじめの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正して、学習へ注意を向けられるようにする。 ・これまでの学習の様子の写真を見て振り返り、児童のよかったところを称賛する。 ・活動の流れを示し、見通しがもてるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて じぶんのスンドイッチをしょうかいしよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面に気を付けて手洗いや身支度ができるよう、電子黒板に手順を示す。 ・できるだけ一人で活動することができるように、写真付きのレシピを用いる。 ・自分の使う用具をかごにまとめて準備し、使った用具はかごに入れ、所定の位置に戻すよう促す。
9:21	2. 活動の振り返りと今日の活動について確認 (1) 写真を見てこれまでの学習を振り返る。 (2) 今日する活動について知る。	
9:25	3. 調理の準備 (机移動、手洗い、身支度)	
9:30	4. 調理	

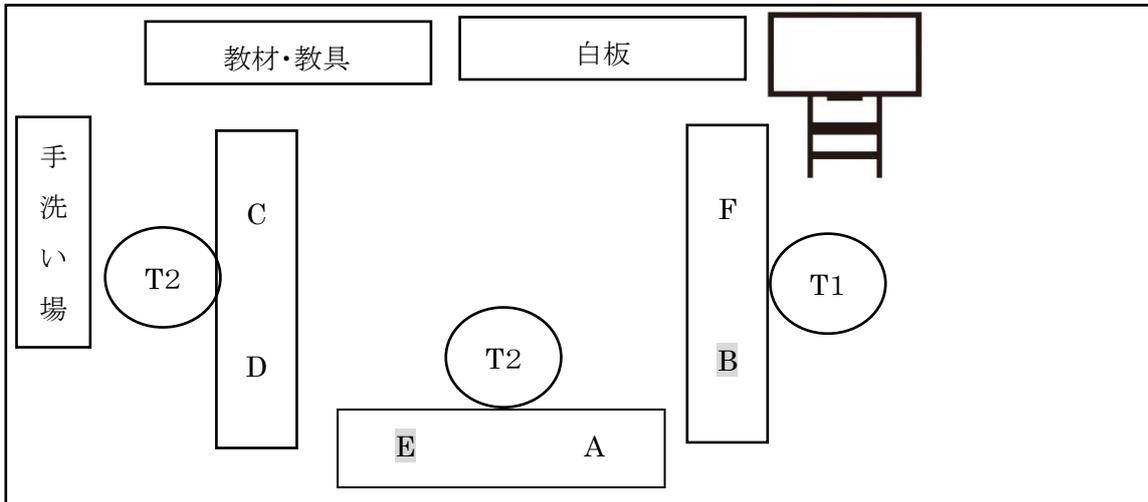
9:45	《休憩（15分）》	・全員の片付けが終わったら座席を戻す。
本時 10:00	5. 試食会をする。 （1）試食会の準備をする。 役割 ・台拭き ・手拭き配り ・皿配り ・飲み物注ぐ ・飲み物配り・号令 （2）作ったサンドイッチを紹介する。 （3）食べて感想の札を挙げる。	・それぞれ準備ができるように役割分担を行う。 ・役割の内容がわかるようにイラストを用いて具体的に説明する。 ・役割を誰が担当するのか分かるように写真を提示する。 ・前日に作成したワークシートを用いて、児童が自分で発表できるようにする。 ・発表の際に緊張する児童には、安心できる言葉かけをする。 ・シンボルと言葉の札（おいしい、いいね、もっと食べたい等）を用いて、感想を伝えることができるようにする。 ・自分の言葉で伝えたい児童は思いを表現することができるようにする。 ・準備同様に役割分担をし、協力して片付けをすることができるようにする。
10:35	6. 振り返り （1）メニューにのるサンドイッチを確認する。 （2）お店をするために必要な物を考え、次の時間から作っていくことを確認する。 7. おわりの挨拶	・児童が見て分かるようにサンドイッチの名前とイラストをホワイトボードに提示する。 ・お店に必要な物を問い、次から作っていくことを伝え、見通しや意欲をもつことができるようにする。 ・姿勢を正して、前方へ注意を向けることができるようにする。

11. 場の設定

【1. はじめの挨拶 2. 活動の振り返りと今日の活動について確認】



【3. 調理の準備 4. 調理】



【5. 試食会をする 6. 振り返り 7. おわりの挨拶】

